

令和 6 年 度 事 業 報 告 書

I 基本方針に関する総括

基本理念として掲げる「住民主体」の地域福祉活動を実現するため、地区社協分会や自治会を基盤とした「小地域における福祉活動」の推進を基本に事業の展開を図ってきた。

地域福祉活動については、感染症拡大による制限を経て、戸外へ出かけることに消極的になることや、経済的な課題を含めた様々な生活課題の解決を図るため、様々な事業を総合的に展開してきた。従来通り 7 社協分会、民生児童委員協議会、行政その他関係機関と連携を密にすることで、課題解決に向けた多方面からのアプローチを図ってきた。

介護保険事業については、在宅での介護から施設利用による介護へと変化してきているなかで、住み慣れた家、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるようサービスの提供を継続した。

保育園事業については、ICT機器を導入することで保育士の事務負担を軽減し、サービスの質の向上と人材確保を並行して図ってきた。また、出生数が減少するなかで将来的な運営の継続と地域の保育ニーズへの対応のため、適正な定員の設定について検討を行いくるみ保育園で 10 名、大瀬保育園で 20 名の定員減を決定した。

社協が行う事業を単に個別事業として実施するのではなく、地域福祉事業の推進を図るため包括的な事業展開を図ってきたところである。

II 事業重点項目及び実施事業

- 1 組織運営体制の強化
- 2 地域福祉活動の推進
- 3 介護保険サービス事業の安定経営
- 4 保育所運営による子育て支援の充実

以上 4 つの事業重点項目に基づいて、事業を実施した。詳細については以下による。

[1. 組織運営体制の強化]

(1) 組織体制

役員体制 理 事 11名(会長1名 副会長2名) 監 事 2名

評議員 14名

地区社協 7地区分会(内子・五城・大瀬・立川・満穂・五十崎・小田)

職員体制 (令和7年3月31日現在)

	職員	派遣	継続	嘱託	非常勤	合計
本所	4	1	0	3	6	14
小田支所	1	0	0	0	4	5
五十崎事業所	4	0	1	0	5	10
たんぼぼ	4	0	0	0	6	10
内子保育園	10	0	0	0	11	21
くるみ保育園	8	0	1	1	12	22
五城保育園	9	0	1	0	12	22
大瀬保育園	5	0	1	0	7	13
合計	45	1	4	4	63	117

(2) 理事会の開催

① 令和6年6月4日(火) 内子町役場内子分庁 3階大会議室

出席理事 9名 出席監事 1名

- ・報告第1号 内子町社会福祉協議会職員就業規則変更の専決処分について
- ・報告第2号 令和5年度補正予算(第4号)の専決処分について
- ・議案第1号 令和5年度事業報告について
- ・議案第2号 令和5年度収支決算について

【監査報告】

- ・議案第3号 令和6年度補正予算(第1号)について
- ・議案第4号 評議員候補者の選任について
- ・議案第5号 定時評議員会の開催について
- ・議案第6号 評議員選任・解任委員の選任について

② 令和6年12月13日(金) 内子町役場内子分庁 3階大会議室

出席理事 10名 出席監事 2名

- ・報告第1号 内子町社会福祉協議会非常勤職員就業規程変更の専決処分について
- ・議案第1号 内子町社会福祉協議会職員給与等規程の変更について
- ・議案第2号 内子町社会福祉協議会保育園管理規程の変更について
- ・議案第3号 令和6年度補正予算(第2号)について
- ・議案第4号 社会福祉功労者表彰被表彰者について
- ・議案第5号 理事候補者の推薦について
- ・議案第6号 評議員会の開催について

③ 令和6年12月24日(火) 内子町役場内子分庁 3階中会議室

出席理事 8名 出席監事 1名

- ・議案第1号 会長の選任について

④ 令和7年3月17日(月) 内子自治センター 2階大会議室

出席理事 9名 出席監事 2名

- ・議案第1号 内子町社会福祉協議会職員給与等規程の変更について
- ・議案第2号 内子町社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の変更について
- ・議案第3号 令和6年度補正予算(第3号)について
- ・議案第4号 令和7年度事業計画について
- ・議案第5号 令和7年度収支予算について
- ・議案第6号 施設長等の選任について
- ・議案第7号 評議員会の開催について

(3) 評議員会の開催

① 令和6年6月21日(金) 内子町役場内子分庁 3階大会議室

出席評議員 11名

- ・報告第1号 内子町社会福祉協議会職員就業規則変更の専決処分について
- ・報告第2号 令和5年度補正予算(第4号)の専決処分について
- ・議案第1号 令和5年度事業報告について
- ・議案第2号 令和5年度収支決算について

【監査報告】

- ・議案第3号 令和6年度補正予算(第1号)について
- ・議案第4号 理事の補欠選任について

② 令和6年12月24日(火) 内子町役場内子分庁 3階大会議室

出席評議員 12名

- ・報告第1号 内子町社会福祉協議会非常勤職員就業規程変更の専決処分について
- ・議案第1号 内子町社会福祉協議会職員給与等規程の変更について
- ・議案第2号 内子町社会福祉協議会保育園管理規程の変更について
- ・議案第3号 令和6年度補正予算(2号)について
- ・議案第4号 理事の補欠選任について

③ 令和7年3月25日(火) 内子自治センター 2階大会議室

出席評議員 10名

- ・議案第1号 内子町社会福祉協議会職員給与等規程の変更について
- ・議案第2号 内子町社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の変更について
- ・議案第3号 令和6年度補正予算(3号)について
- ・議案第4号 令和7年度事業計画について
- ・議案第5号 令和7年度収支予算について

(4) 職員研修

令和6年	5月21日～22日	市町社協事務局長会議
令和6年	6月7日	福祉サービス利用援助事業第1回専門員連絡会
令和6年	6月21日	生活保護受給者等就労自立促進事業協議会
令和6年	6月27日	愛媛県生活支援コーディネーター研修会
令和6年	7月10日	成年後見制度利用促進協議会
令和6年	7月18日	市町社協生活福祉資金担当者会議
令和6年	8月19日	権利擁護担当者交流会
令和6年	8月26日～27日	市町社協トップミーティング
令和6年	9月17日	成年後見制度利用促進セミナー
令和6年	11月5日	地域福祉実践報告会
令和6年	11月10日	災害ボランティアセンター設置・運営訓練
令和6年	11月14日	ボランティアコーディネート力向上研修会
令和6年	11月20日	市町社協ファシリテーション基礎研修会
令和6年	12月6日	生活困窮者自立支援研修会
令和6年	12月25日～26日	生活困窮者自立支援制度人材養成研修
令和7年	1月11日	福祉学習推進研修会
令和7年	1月28日	愛媛県民間社会福祉団体退職積立制度説明会
令和7年	2月6日	生活福祉資金担当職員研修会
令和7年	2月7日	福祉サービス利用援助事業専門員・生活支援員研修会
令和7年	2月25日	市町社協事務局長会議
令和7年	3月6日	要保護世帯向不動産担保型生活資金担当者連絡会

[2. 地域福祉活動の強化・充実]

(1) ボランティア活動の推進

1 登録ボランティア団体への活動支援

① 保険加入による活動支援

ボランティアセンターに登録のある12団体について、活動中の事故に対応するため保険に加入し活動支援を行った。

登録ボランティア団体

内子町学芸サポーター	おててつないで
内子町子育て支援サポーター	精神保健ボランティアでんでんむし
おはなしむしこまど	傾聴ボランティアほほえみ
どんぐり会	小田寮生サポーター会
手話サークル内の子	うちこどもプロジェクト
内子町赤十字奉仕団	八日市護国地区町並保存会

2 ボランティア養成講座の開催

令和6年7月から9月にかけて、株式会社ライフキャリア制作所を講師に招き全5回の傾聴ボランティア養成講座を開催した。また、10月には養成講座修了者を対象にステップアップ研修を開催するとともに、うちこ福祉館のわいわい喫茶事業での傾聴ボランティア体験を行うなど、傾聴ボランティアについての学びの機会を設けた。

3 災害ボランティア活動

近年発生が予想されている南海トラフ地震をはじめ、様々な風水害によってその役割や重要性が認知されてきている災害ボランティアセンターについて、より具体的な設置訓練に参加するなどの研修を行った。

(2) 高齢者福祉事業の推進（社協単独事業）

1 高齢者ふれあい・いきいきサロンの展開

地域の高齢者同士が顔を合わせる機会を増やして地域コミュニティの強化を図ることや、認知症予防、引きこもり予防の推進を目的に、定期的に活動しているサロンへ活動助成金として参加者一人あたり200円の助成を行った。

活動サロン数36	内子15 五十崎6 小田15
サロン登録者数740名(-17)	年間延参加人数 4,437名(+62)

2 サロン代表者情報交換会の開催

令和6年11月8日 共生館において、介護老人保健施設アンビションうちこ園施設長 中川 晃 氏を講師に迎え、認知症についての講和をいただいた後、サロンで行うレクリエーションや男性会員を増やすための工夫などについて情報交換を行った。

(3) 青少年健全育成事業の推進

1 少年式の援助

町内4校の中学校で行われる少年の日記念行事に対して一人当たり1,000円の助成し、激励を行った。

【実績】

内子中学校：52名 (砥部焼絵付け体験)	大瀬中学校：13名 (夢わらべ制作)	合 計：124名
小田中学校：9名 (記念ウォーク)	五十崎中学校：50名 (砥部焼絵付け体験)	

2 ボーイスカウト活動援助

ボーイスカウト活動や年末に実施する「赤い羽根共同募金」の協力に対し、活動助成金として共同募金の配分金を交付した。

3 新生児出生祝い品の贈呈

新生児の出生祝い品として内子町へ出生届出の際に、住民課を通じてお手入れセットを贈呈した。

(4) 共同募金運動の推進

1 共同募金の達成状況

目標額 5,000,000 円を下記のとおり達成し、愛媛県共同募金会へ全額送金致しました。

(募金状況)

(単位：円)

募 金 方 法 別	募金実績額	摘 要
戸 別 募 金	2,963,400	各自治会より
街 頭 募 金	21,787	ボーイスカウト内子支団
法 人 募 金	1,378,300	社協分会特別募金（企業、商店他）
学 校 募 金	40,359	小中学校 保育園 幼稚園
職 域 募 金	529,000	役場職員 学校教職員 民生児童委員等
そ の 他 の 募 金	61,154	バッジ募金 ガチャボン募金等
小 計	4,994,000	
自動販売機等募金	249,288	みどり苑、キッズ、分庁設置の自販機
合 計	5,243,288	愛媛県共同募金会へ送金

2 内子町における配分金の使途

事業名・配分先	配分金	配分金の使途		
① 地区社協 配分金	1,619,300 円	7つの社協分会における、前年度共同募金特別募金額に対して配分し、各地区での地域福祉活動に使用		
		内子分会	366,300 円	
		五十崎分会	412,000 円	
		小田分会	249,000 円	
		五城分会	249,000 円	
		大瀬分会	164,000 円	
		立川分会	132,000 円	
		満穂分会	47,000 円	
② 地域福祉活動 援助事業	2,042,006 円	22自治会へ10万円を限度の配分		
		六日市自治会	100,000 円	備品整備
		八日市自治会	100,000 円	備品整備
		畑中自治会	100,000 円	備品整備

		廿日市自治会	100,000 円	備品整備
		第五自治会	96,421 円	備品整備
		城廻自治会	100,000 円	備品整備
		長田自治会	100,000 円	備品整備
		立川自治会	100,000 円	備品整備
		河内自治会	67,920 円	備品整備
		和田自治会	100,000 円	備品整備
		程内自治会	96,988 円	備品整備
		神南自治会	100,000 円	備品整備
		西沖自治会	100,000 円	備品整備
		柿原自治会	81,301 円	備品整備
		御祓自治会	100,000 円	備品整備
		中川自治会	100,000 円	備品整備
		立石自治会	64,000 円	備品整備
		寺村自治会	100,000 円	施設改修
		平野自治会	100,000 円	備品整備
		吉野川自治会	79,376 円	備品整備
		臼杵自治会	100,000 円	備品整備
		御祓自治会	20,000 円	配食サービス
		上川自治会	36,000 円	配食サービス
③ 児童青少年 福祉活動事業	30,000 円	ボーイスカウト活動助成（年末街頭募金実施）		
④ 小中学校活動 助成	317,798 円	内子小学校	29,160 円	教材整備
		大瀬小学校	25,508 円	教材整備
		立川小学校	30,000 円	備品整備
		石畳小学校	28,930 円	教材整備
		五十崎小学校	29,120 円	教材整備
		天神小学校	25,080 円	備品整備
		小田小学校	30,000 円	備品整備
		内子中学校	30,000 円	教材整備
		大瀬中学校	30,000 円	備品整備
		五十崎中学校	30,000 円	教材整備
		小田中学校	30,000 円	備品整備
⑤ 広報啓発活 動費	33,000 円	広報誌掲載		
⑥ その他	293,067 円	社会福祉大会、事務費等		
総 合 計	4,335,171			

(5) まごころ銀行の有効活用

1 地区社協分会活動への助成

まごころ銀行にご寄付いただいた香典返しに係る寄付金について、その半額を小地域活動で活用していただくため、寄付者の地元である各分会に配分を行った。

【実績】

内子分会	180,000 円	五城分会	105,000 円
大瀬分会	150,000 円	立川分会	75,000 円
満穂分会	200,000 円	五十崎分会	357,500 円
小田分会	205,000 円	合計	1,272,500 円

2 地域福祉活動への活用

本会においては、「高齢者ふれあい・いきいきサロン」への助成をはじめ、「ひとり暮らし高齢者の集い」、「少年の日記念行事」など地域福祉事業の財源として活用した。

(6) 社協活動体制の強化

1 地区社協分会の支援、事業助成

- ① 7分会がそれぞれの地域特性に合わせた福祉活動を展開するため、分会活動推進費を交付し、小地域での福祉活動を支援した。(本会納入会費戸数×220 円)

【実績】

内子分会	402,160 円	1,828 戸	五城分会	173,580 円	789 戸
大瀬分会	97,680 円	444 戸	立川分会	55,660 円	253 戸
満穂分会	46,200 円	210 戸	五十崎分会	437,580 円	1,989 戸
小田分会	165,220 円	751 戸	合計	1,378,080 円	6,264 戸

- ② 令和6年7月12日(金) 7地区の社協分会長と事務局が集い意見交換を行った。各分会が保有する特別会計について、その活用方法等について情報交換を行うなど、地域福祉の推進について検討を行った。

(7) 総合相談事業の推進

1 生活困窮者自立支援事業・家計改善支援事業

経済的な生活課題から生活保護受給の申請を行う前段階において、債務整理や就労の手助けを行うことで生活の自立の援助を行った。その他、精神保健の課題、家族関係の課題など様々な生活課題に対して助言を行うことで、自立した生活に向けたセーフティーネットの役割を担った。

新規相談受付件数 18件

継続相談プラン終結 2件

2 福祉サービス利用援助事業

福祉サービスにかかる契約や日常生活における売買契約などについての判断に不安のある方が、その権利を脅かされないことがないように必要な相談支援を行った。

【実績】 新規契約件数 0件 継続件数 3件

3 各種資金の貸付事業

主に低所得世帯を対象に、低金利での貸し付けを行うことで経済的な自立を図る相談支援を実施した。生活保護受給世帯からの相談もあり、貸付相談にあたっては八幡浜支局福祉室、内子町、民生児童委員等と相談するとともに、生活困窮者自立支援での継続的な支援を行うなど借受世帯の支援体制の充実を図った。

① 生活福祉資金貸付事業（県社協）借入相談件数29件（貸付 6件）

- | | | |
|---------|----------|-------|
| ・緊急小口資金 | 相談件数 23件 | 貸付 3件 |
| ・福祉費 | 相談件数 4件 | 貸付 3件 |
| ・教育支援資金 | 相談件数 2件 | 貸付 0件 |

② 小口資金貸付事業（社協単独事業）借入相談件数4件（貸付0件）

一時的な所得の低下や急な出費による経済課題に対し、小口資金の貸付を行い、生活の安定に寄与した。

- ・貸付限度額 3万円以内（無利子）

4 生活困窮者食糧支援ネットワーク事業

貸付相談、生活困窮者自立支援での相談などの際に、県社協やeワーク愛媛から提供された食料を活用することで、生活課題を抱える世帯への支援の充実を図った。

3世帯へ保存食等の提供を行ったほか、こども食堂の食材としても活用した。

5 心配ごと相談所事業

心配ごと相談所を毎月第3火曜日に内子分庁4階に開設し、弁護士（弁護士法人たいよう 池本真彦弁護士）による無料法律相談を実施した。

【実績】

	相談件数	内容
生活・経済に関すること	0件	
家族に関すること	0件	
健康・医療に関すること	2件	医療・精神保健
法律に関すること	24件	人権・法律・事故
その他	0件	
合計	26件	

※相談件数26件のうち2件については他の相談機関を紹介し、24件については傾聴により解決となった。

(8) 地域支援事業（町委託事業）の推進

1 生活支援コーディネーター

① 地域の高齢者支援ニーズ及び地域資源の把握

ふれあい・いきいきサロンなど、地域の高齢者が集う場において地域の実情や課題などの現状把握を行った。

② 生活支援・介護予防サービス等の資源開発

地域に根ざす健康づくりサポーター育成事業として、サロンの代表者や地域で健康体操等を行っている方を対象に、健康運動指導士 芝亜紀 氏を講師に、新しい介護予防のコツや運動など、すぐに実践できる具体的な体操の実技実習を開催した。

③ 関係者間のネットワーク化・連携協働の体制づくり

民生児童委員の自治会での役割りや、自治会活動や民生児童委員活動を行ううえでの協働や課題について、民生児童委員、見守り推進員と情報交換を行った。また、関係機関との平時からのつながりとして、加戸病院リハビリ課と防災への取り組みや内子町の現状について情報交換を行った。

④ 多様な関係主体間の情報共有、連携による取り組みの推進

- ・ R6. 6. 25 第 1 回精神保健連絡会
- ・ R6. 6. 27 第 1 回地域ケア個別会議
- ・ R6. 8. 7 権利擁護支援推進協議会
- ・ R6. 9. 19 第 2 回地域ケア個別会議
- ・ R6. 11. 26 第 2 回精神保健連絡会
- ・ R6. 12. 19 第 3 回地域ケア個別会議
- ・ R7. 2. 18 第 3 回精神保健連絡会
- ・ R7. 3. 27 第 4 回地域ケア個別会議

⑤ 協議体設置に向けた準備、連携協働

- ・ R6. 4. 24 障害者の居場所づくり小協議体
- ・ R6. 6. 25 愛媛県生活支援コーディネーター研修会
- ・ R6. 8. 6 地域福祉推進研究会
- ・ R6. 8. 22 生活支援コーディネーター連絡会

2 生きがいデイサービス事業

介護予防対策事業の一環として、内子保健センター、うちこ福祉館、大瀬生きがい活動センターにおいて、看護師による健康チェックとリハビリの指導、オーベルジュ内子での昼食・入浴、帰り道での買い物の援助等を実施した。

実施地区：満穂・上立山・下立山・川中

程内熊の滝・程内影浦・富長和田・長田

【実績】

	利用登録者数	実施回数	延利用者数
内子地区	42名	193回	713名

※ 荒天等による中止 12回

3 家族介護用品支給事業

要介護3、4、5の認定を受けた高齢者を在宅で介護している世帯を対象に、介護者の負担軽減を図るとともに、要介護状態にある高齢者の在宅生活の継続、向上を図ることを目的として、紙おむつの支給を行った。

配布については民生児童委員の協力を得て、利用者の自宅まで配送を行った。

なお、現物支給の限度額は世帯により37,500円または75,000円となっている。

	実利用者数	延利用者数	実績額
内子地区	50名	225名	1,168,800円
五十崎地区	29名	197名	965,150円
小田地区	15名	98名	374,750円
合計	94名	520名	2,508,700円

(9) その他地域福祉活動

1 内子町社会福祉大会

「暮らしのなかの結びつき」をテーマに、いろいろな人に助けられて暮らしていることを再認識することで、地域のたすけあいの輪が広がることを目的に、約280名の参加を得て開催した。

- ・保育園児童によるアトラクション
- ・社会福祉功労者表彰 2名(老人クラブ連合会1名 身体障害者更生会1名)
- ・社会福祉活動感謝状 1名(内子町社会福祉協議会五城分会長)
- ・フリーアナウンサー“笠井信輔”氏による講演
「足し算で生きる～がんステージ4からの生還～」
- ・協力団体によるバザー
内子町シルバー人材センター・(社福)宗友福祉会Sa. おいでや内子・地域活動支援センターかいと・NPO法人うちこ工房・お食事どころ鼓次郎・ベーカリーぴいまん
- ・要約筆記協力:要約筆記サークル オリーブ大洲
- ・手話通訳協力:愛媛県聴覚障害者協会

2 分会による主な地域福祉事業

各分会の企画により、独自の小地域活動が展開された。

- ・ひとり暮らし高齢者のつどい事業

9月12日 五城分会

11月 7日 五十崎分会

11月19日 立川分会・満穂分会合同

12月 4日 小田分会

2月20日 大瀬分会

2月23日 内子分会

- ・大瀬分会 合同祝賀会を開催。
- ・内子・五城・立川・満穂分会合同での金婚祝賀会
- ・五十崎分会 金婚記念写真事業（記念品と無料の写真撮影券を贈呈）
- ・小田分会 高齢者配食サービス事業
- ・五十崎分会 独居老人配食サービス事業
- ・その他、見守り活動や福祉団体助成など、地域に密着した福祉活動を展開

[3. 介護保険サービス事業の強化・充実]

（１）経営の効率化の推進

在宅サービスの利用が減少していることに加え、報酬単価が下がったことにより経営は厳しい状況である。加えて在宅介護従事者も減少しており、人材の確保についても非常に厳しい状況にあるなかで、可能な限り経費の節減に努めるとともに所内外での研修の機会を増やし、事業所の資質向上を図りながら運営を行った。

居宅介護支援事業所	管理者 1 名 介護支援専門員 3 名
訪問介護事業所 障がい福祉サービス事業所	管理者 1 名（サービス提供責任者兼務） 非常勤職員 5 名
訪問介護小田事業所 障がい福祉サービス小田事業所	管理者 1 名（サービス提供責任者兼務） 非常勤職員 4 名
通所介護事業所	管理者 1 名 介護職員 3 名 非常勤職員 4 名

（２）サービス向上の職員研修

各事業所において原則月 1 回以上の事業所内研修を行うとともに、事業所外研修に

についても積極的に受講することで事業所の資質向上を図った。また、介護現場での身体的負担軽減を目的にノーリフティングケア研修受講に取り組んだ。

令和	6年	4月14日	てんかん講座
令和	6年	4月15日	介護保険改訂セミナー
令和	6年	4月17日	サービス提供責任者研修
令和	6年	4月20日	ヒヤリハット報告書研修
令和	6年	5月14日	居宅介護支援事業者実務担当者研修
令和	6年	6月11日	ハラスメント・ストレス対策研修
令和	6年	6月22日	認知症ケアアセスメント研修
令和	6年	7月9日	認知症セミナー
令和	6年	7月22日	救命救急と熱中症対策研修
令和	6年	8月3日	「食べる」を支える基本研修
令和	6年	10月9日	感染症予防研修
令和	6年	10月16日	B C P 策定・訓練対応セミナー
令和	6年	11月13日	発達障がい者の認知症支援研修
令和	6年	11月30日	ヤングケアラー支援研修
令和	6年	12月18日	ひきこもり支援研修
令和	7年	1月13日	高齢者等虐待防止研修
令和	7年	2月20日	緊急時の介護研修

[4. 保育所運営による子育て支援の充実]

社会福祉協議会が保育所運営移管を受けて15年を超え、延長保育や一時保育への取り組みや英会話教室、音楽教室、体操等独自の事業を実施するなど、社会福祉協議会として柔軟な運営を行ってきたところである。また、ICT機器の運用を開始し、保育士の事務負担軽減を行うことで、効率的な運営と保育士の確保を図るとともに、出生数が減少する中で適正な定員の設定について検討し、経営の安定と地域の保育ニーズへの対応を継続した。

保育園入所児童数

令和7年3月31日現在

	0歳	1・2歳	3歳	4・5歳	計	備考
内子保育園	3名	18名	11名	41名	73名	定員80名
くるみ保育園	3名	18名	14名	36名	71名	定員80名
五城保育園	3名	18名	14名	27名	62名	定員60名
大瀬保育園	0名	11名	1名	6名	18名	定員50名
合計	9名	65名	40名	110名	224名	

保育士資質向上のための研修

各保育園において、月1回以上の所内研修を行うことで、職員の意識統一と保育の質の向上を図るとともに、所外研修へ積極的に参加し保育内容の充実に努めた。

令和6年5月24日	育ちを支える保育の充実研修（前期）
令和6年6月16日	愛媛県保育関係者交流セミナー
令和6年6月19日	愛媛県教育・保育施設初級者研修
令和6年6月26日	喜多郡保育協議会0、1歳児部会研修
令和6年7月1日	副主任・専門リーダー研修
令和6年7月11日	四国ブロック保育研究大会
令和6年7月12日	喜多郡保育協議会2歳児部会研修
令和6年8月9日	喜多郡保育協議会3歳児部会研修
令和6年8月28日	特定給食施設等研修
令和6年9月4日	喜多郡保育協議会4歳児部会研修
令和6年9月24日	愛媛県保育事業研修
令和6年10月25日	大洲警察署との不審者対応合同訓練
令和6年11月27日	給食関係職員事例発表研修
令和6年12月6日	愛媛県教育・保育施設長研修
令和7年1月29日	愛媛県中堅保育士研修
令和7年1月30日	幼児期発達支援研修
令和7年2月14日	育ちを支える保育の充実研修（後期）
令和7年3月10日	喜多郡保育協議会給食担当者研修

（資料）

令和7年3月31日現在人口等（広報うちこ）

<u>人口</u>	<u>14,589人</u>	<u>世帯数</u>	<u>6,893世帯</u>
男	7,029人		
女	7,560人		